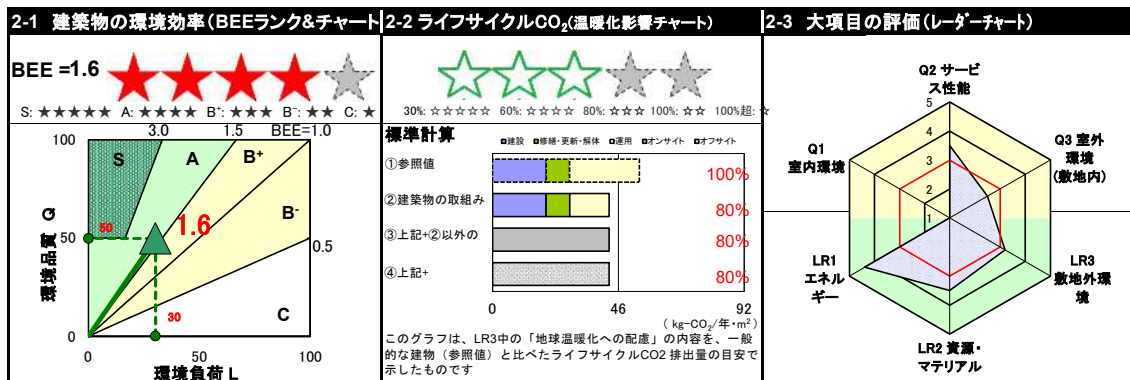
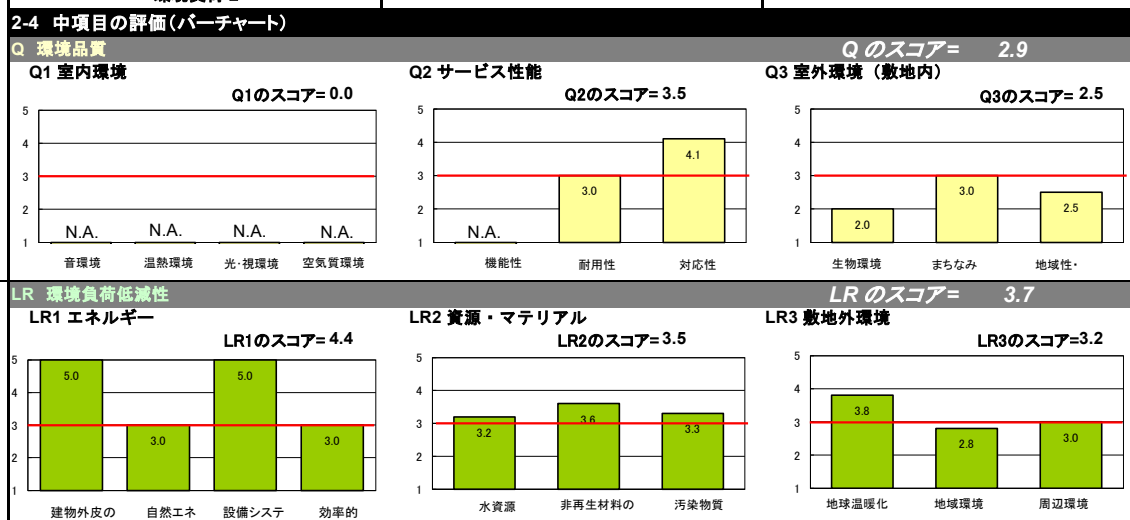


CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	デンソー善明南新工場 善明南食堂棟	階数	地上3階
建設地	愛知県西尾市吉良町駿馬内ノ山1-2	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	920 人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2027年4月 予定	評価の実施日	2026年6月18日
敷地面積	500.437 m ²	作成者	川端 克尚
建築面積	33,390 m ²	確認日	2026年6月18日
延床面積	93,553 m ²	確認者	川端 克尚



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.8	2.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.5	1.0

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}}$ × 100建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$ × 100

2/5

3 対応性・更新性				0.4	4.1	0.48	-	-	-	4.1
3.1 空間のゆとり			②		0.3	4.2	0.31	-	-	-
1	階高のゆとり	階高:3.9m以上。		-	5.0	0.60	-	-	-	
2	空間の形状・自由さ			3.0	3.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり				床荷重:5000N/m ²	3.0	5.0	0.31	-	-	-
3.3 設備の更新性					0.3	3.4	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性			-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラックにより仕上材を痛めずに更新・修繕ができる。		3.0	5.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性	ケーブルラックにより仕上材を痛めずに更新・修繕ができる。		3.0	5.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	3.0	0.22	-	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	-	0.57	-	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			独自③	-	2.0	0.30	-	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	-	3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30	-	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	-	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー				-	-	0.40	-	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPIm = 0.64	3.0	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化				BEIm = 0.57	3.0	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用					0.2	3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価					1.0	3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング					3.0	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制					3.0	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価					-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング					-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制					-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	-	0.30	-	-	-	3.5
1 水資源保護					0.1	3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 節水					3.0	3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.3	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				雑排水等(工水)を利用している。	3.0	4.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	3.6	0.63	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減			② 独自	-	3.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	3.0	0.21	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				床:ビニル系床材, 陶磁器質タイル, 断熱材	3.0	5.0	0.21	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				LGSを使用している。	3.0	4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.3	0.22	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.5	0.68	-	-	
1 消火剤					-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					-	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒					3.0	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	-	0.30	-	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率79%。	-	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮					0.3	2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止				燃焼機器を使用していない。	-	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					-	2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			独自		-	3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					-	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			独自		-	3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					-	1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮					0.3	3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40	-	-	
1 騒音			独自		-	3.0	1.00	-	-	
2 振動			独自		-	-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					0.4	3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制					-	3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制					-	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制					-	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制					0.2	3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策					-	3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					-	3.0	0.30	-	-	

重点項目スコアシート

デンソー・善明南新工場 善明南食堂棟

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目（配慮項目）		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	3.5
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.1	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.6	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化：13.7%/建物緑化：0%
④ 地域材の活用		（評価ポイント）		1.0
Q3-2 4）	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	－	なし
Q3-3.1 I 2）	地域性のある材料の使用	0.0	－	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 デンソー善明南新工場 善明南食堂棟

計画上の配慮事項	
総合	ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。
Q1 室内環境	対象外
Q2 サービス性能	階高:3.9m以上。 床荷重:5000N/m ²
Q3 室外環境(敷地内)	植栽により、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	BEIm = 0.57
LR2 資源・マテリアル	LGSを使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を使用している。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率79%。 燃焼機器を使用していない。
その他	特になし。